

第2回 笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議 会議概要

日 時：令和8年3月23日（月）19：00～20：20

場 所：笠岡市役所3階第1会議室

出席者：委 員 7人

笠岡市 市長，副市長，総務部長，こども・健康福祉部長

事務局 市民病院 病院事業管理者兼院長，管理局長 外5人

傍聴者 岡山県職員 1人

笠岡市職員等（市民病院職員含む） 7人

1 開会

（則安委員長）

- ・検討会議で様々に必要なご意見をいただき，実際に具体的な計画を立て実行する段階で，市の責任で検討し，丁寧に関係の方々に必要な説明などを行いながら進めると聞いている。
- ・そうしたことを進める上で，留意すべき事項をきちんと整理させていただき，取りまとめて今後進めたいと考えている。

2 市長あいさつ

（栗尾市長）

- ・市民病院が公の医療機関として，何を直接やるべきかについては，委員の皆様にご意見を頂戴し，丁寧に議論を重ね，コンセンサスを得ながら再検討を進めていくことが何よりも重要だと思っています。
- ・皆様に，改めて昨今の状況を踏まえながら，今後の笠岡市の医療体制について忌憚のないご意見を賜り，いただきましたご意見を踏まえて，今後の在り方について，設置者である市長の私が判断し決定させていただきたいと考えております。

3 議事（進行：則安委員長）

①不採算部門等の医療

- ・病院の赤字化の中で，特に田舎の公的病院の赤字が大きい。今の医療報酬の関係でこんな低い報酬で，例えば公務員に準ずるような給与をもらって仕事をされる病院が黒字化することはない。だから今後，市がどれだけ補填する能力があるのかを十分検討しないと，なかなか前に進まないところがある。
- ・離島医療については不採算部分を市がサポートせざるを得ない。公的にサポートが必要。裏を返せば，誰がやってもどこかが担わないといけないので，笠岡市民病院ではなくても市のサポートを得て，どなたかがやればよい。
- ・高齢者が急に来られて入院が必要だということで，現状でベッドが足りないのであれば，

この部分是不採算であろうがなかろうが担わないといけない。

②災害時・新興感染症に対する医療

- ・新興感染症とか災害の時には非常にベッドが要ったりするが、平時には必要ないということで、コストが非常にかかるため、体力が大きい病院でないと、これを吸収しきれないというところがある。

③地域包括ケアシステムの構築の中で担う医療

- ・在宅医療というか地域包括システムについては、前々から笠岡市民病院に訪問看護ステーションを置いていただけないかというお願いをしている。それはなぜかというと、診療所の先生方のバックアップに非常に役に立つ。我々はステーションを持っているが、やはり人のマンパワーが足りないから十分なことができないということもあって、他所の施設からなかなかお受けできていない。特に診療所の先生を支えるための訪問看護ステーションはとても大事。
- ・国も在宅の方向性が若干変わってはきていると思うが、なかなか介護をする人たちも少なくなっているため、こういう施設が必要。笠岡は老人施設が非常に充足しているので、その合間の医療が必要な高齢者の方々のケアをどうするのかというのがとても課題。

④外来診療科

- ・今も笠岡市民病院が全ての診療科を標榜していないし、常勤がおらず外勤で賄っているという状況。次の病院がどうなるか分からないが、外来診療科は必要であれば外勤でお願いするという状況でディスカッションにはならない。

⑤病床機能と病床数

- ・今の段階は縮小の方向ということで、場合によっては有床診療所も視野に入るかどうか。このあたりは国に確認中である。
- ・実際に、経営責任は市で持っていただくしかない。このあたりは具体的にシミュレーションを行った上で、市の責任で決めていただく。少し縮小方向、決して過大のものにならないように、そして今後さらに人口減少ということを見据えると、必要があれば、そこからさらに経営のあり方の見直し、というようなことも視野に入れてご検討いただく必要があるのではないか。

⑥地域連携の取り組み

- ・病院との連携はベッドが時々いっぱいするときもあるが、非常にスムーズに色んなことができていていると思っている。今、ネット環境が良いので色々なデータを送りやすいし、やはり福山と倉敷への連携というのは非常に恵まれた地域ではないかなと思っている。

- ・バックアップとしての入院機能はもちろんだが、市内にない診療科、少ない診療科（整形外科，皮膚科，泌尿器科，小児科）といったニーズはかなりある。入院医療までできない科もあるが市内で紹介できることはかなり大きいことなので，ぜひ維持していただきたい。

⑦経営形態

- ・色々な形態があるが，今までずっと市民病院が頑張ってきたところもあるので，なんとか今の形態を変えないで，縮小するならそれでよいが，周辺の病院も医師会も含めて現状で市民病院を応援するという，皆でカバーできるところはやれるのではないかと，やるしかないのではないかと思う。
- ・例えば，今でも医師会は日曜日，休日の当番医は市民病院に負担がかからないようにしている。民間病院だと少しお手伝いをしているし，そういうことを増やしたら良いと思う。縮小は仕方ないのかもしれないが，せつかく地域を担ってきた病院なので，極力負担のないような方法で大きな建物を建てるんじゃなくて改修でも良いのか分からないが，永遠に続けられるような医療って本当にあるかどうか分からないが，そういうことも含めて何とか頑張ったら良いと思う。

4 閉会

（谷口副委員長）

- ・本日はお忙しい中，笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議にご出席いただき，大変ありがとうございます。なかなか検討することは難しいことが多いが，できる範囲で考えていくということですので，引き続き色々なご意見をお願いしたいと思います。